



「よかろうもん」ではない心もちたい

校長 善 由美子

10月に入りました。今年度も半分を越しました。この半年、みなさん、一步一步階段を確実に登ってきました。後半に入った一日目には「体育祭」という大イベントも大成功で終わることができました。コロナ禍の3年間から一変するかのように今年度は次々と人と関わりあう行事を行うことができています。こうした行事をすることは4年前までは当たり前とっていました。日々の活動に何を思うこともなく淡々と行事を行ってきていました。それが今は、一つの行事を行うごとに「ありがたい」と思える日々です。私たちの身近なことを改めて大切に思う今となりました。これからもこの思いは忘れないようにしたいです。「のど元過ぎれば・・・」といわれるようなことのないようにしたいです。

そんなとき、佐賀でよく聞く「よかろうもん」という言葉。CM等でも流れています。「よかろうもん運転」。これが流れるたびに胸が痛くなってしまいます。「そうしてるな・・・」と。先日の2学期の始業式にみなさんに話したことがあります。

『これまで見逃してきたかもしれない「禁止事項」「注意事項」は私たちの命を守るためのもの。「このくらいいいや」「これまでどうにかやってきたもん」などと思わず、危険なリスクはとても大きいことを肝に銘じて、私たちを危険から守ってくれている言葉として、これからは絶対に守っていきましょう。』

そう言った矢先に耳にしたこの「よかろうもん」のCM。自分を律しなければと改めて思う私です。

【食育放送の取り組みから・・・給食室の紹介】

月に1度の食育放送では、小学部の児童が司会をしています。担当するにあたり児童は、給食作りや調理員さんについて、みんなに伝えられることはないだろうかと、絵本を読んだり、見学や給食室にインタビューや体験をしたりして、取り組みました。そこで分かったことは、「給食の前に、校長先生たちが検食をしていること」「調理員さんたちが、担当ごとにエプロンの色を変えていること」「出来上がったもの全て温度をはかっていること」と、初めて知ることばかりでした。私たちが安全に、安心して、おいしい給食を食べることができているのは、知らないところで、たくさんの方が衛生管理を守り、関わってくださっているということだと改めて児童の取り組みから気づかされました。これからも感謝の気持ちを込めて、頂きたいと思います。



食育放送



検食



温度計測



幼小 学部

【体育祭 10/1】



快晴の中、幼小学部の幼児、児童は、徒競走、親子競技、大小玉ころがし、紅白リレーに出場しました。親子

競技「ミッションインポッシブル in 佐賀盲」では、家族で力を合わせて、もう一人の家族を助け出す競技。本番では練習の成果が十分に発揮され、無事、脱出成功！みなチームワークばっちりでした。



中 学部

【第2回城北中学校との交流学习～体育祭】

4年ぶりに、城北中学校の生徒に体育祭に参加してもらうことができました！

団席では同じ中学生同士で楽しく会話をし、競技では、一緒に力を合わせて頑張りました。城北中生徒はアイマスクをして走るという、貴重な体験を楽しんでくれたようです。集団の楽しさを感じられる有意義な交流ができました。



高 等 部

【佐賀県高等学校弁論大会 10/3】

佐賀県高校総文祭の弁論大会に普通科の生徒が出場。演題は『知られざる視覚障害の世界』。身振り手振りを交えた表現力豊かな弁論は、他の県立高校生たちに伍して、確かな存在感を示しました。



アバンセにて、弁論の様子。ちょっぴり緊張気味？

【1学期臨床体験発表会 7/14、臨地実習体験発表会 9/22】 理療科に学ぶ生徒たちが各々の実習体験を発表しました。多くの生徒・職員が参観するなか、緊張感あり、ときにユーモアあり、盲学校ならではの豊かな学び合いです。

寄 宿 舎

【佐大(医)軽音楽コンサート 10/4】

音楽の秋が到来。今年も佐大医学部生による軽音楽コンサートを開催しました。ギターや、ドラム、管楽器など迫力のある演奏で、会場は大いに盛り上がりました。終盤には舎生みんながタンバリンやマラカスを持って、バンドの演奏と一体となって、楽しまれていました。演奏後には、医大生と楽器に触れあいながら交流をすることができ、充実した内容となりました。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましよう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672